

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2002-199435(P2002-199435A)
 【公開日】平成14年7月12日(2002.7.12)
 【出願番号】特願2000-391393(P2000-391393)
 【国際特許分類第7版】

H 0 4 Q 7/36

H 0 4 L 12/28

H 0 4 M 3/00

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 L 12/28 3 0 0 B

H 0 4 M 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月27日(2003.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、

基地局は、

自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送方向を認識し、

前記使用状況及び前記伝送方向に応じて、自局配下の割当先のリンクに無線リソースを割り当てるようにした無線リソース割当方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、

基地局は、

自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送方向を認識し、

自局及び他の基地局配下の移動局に設定された無線リソースの割当優先度を認識し、

前記使用状況、前記伝送方向及び前記割当優先度に応じて、割当先のリンクに無線リソースを割り当てるようにした無線リソース割当方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、

基地局は、

自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されているか否かを判定し、

前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において未使用である場合に、割当先のリンクに前記未使用の無線リソースを割り当て、

前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されている場合に、前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致するか否かを判定し、

前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致する場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定し、

前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当て、

前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致しない場合に、割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高いか否かを判定し、

前記割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高い場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定し、

前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当てるようにした無線リソース割当方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 1】

配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる基地局であって、

自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送方向を認識する使用状況認識手段と、

前記使用状況及び前記伝送方向に応じて、自局配下の割当先のリンクに無線リソースを割り当てる無線リソース割当手段と

を備えることを特徴とする基地局。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる基地局であって、

自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送方向を認識する使用状況認識手段と、

自局及び他の基地局配下の移動局に設定された無線リソースの割当優先度を認識する割当優先度認識手段と、

前記使用状況、前記伝送方向及び前記割当優先度に応じて、割当先のリンクに無線リソースを割り当てる無線リソース割当手段と

を備えることを特徴とする基地局。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる基地局であって、自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されているか否かを判定する第 1 の判定手段と、

前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において未使用である場合に、割当先のリンクに前記未使用の無線リソースを割り当てる第 1 の割当手段と、

前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されている場合に、前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致するか否かを判定する第 2 の判定手段と、

前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致する場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定する第 3 の判定手段と、

前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当てる第 2 の割当手段と、

前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致しない場合に、割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高いか否かを判定する第 4 の判定手段と、

前記割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高い場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定する第 5 の判定手段と、

前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当てる第 3 の割当手段と

を備えることを特徴とする基地局。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明は請求項 1 に記載されるように、基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、基地局は、自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送方向を認識し、前記使用状況及び前記伝送方向に応じて、自局配下の割当先のリンクに無線リソースを割り当てるようにした。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明は請求項 2 に記載されるように、基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、基地局は、自局及び他の基地局における無線リソースの使用状況及び割り当てられた無線リソースの伝送

方向を認識し、自局及び他の基地局配下の移動局に設定された無線リソースの割当優先度を認識し、前記使用状況、前記伝送方向及び前記割当優先度に応じて、割当先のリンクに無線リソースを割り当てるようにした。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明は請求項3に記載されるように、基地局と前記基地局配下の移動局との間のリンクに対し無線リソースを割り当てる無線リソース割当方法において、基地局は、自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されているか否かを判定し、前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において未使用である場合に、割当先のリンクに前記未使用の無線リソースを割り当て、前記自局において未使用の無線リソースが他の基地局において使用されている場合に、前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致するか否かを判定し、前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致する場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定し、前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当て、前記使用されている無線リソースが割り当てられたリンクの伝送方向と割当先のリンクの伝送方向とが一致しない場合に、割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高いか否かを判定し、前記割当先のリンクに対応する移動局の割当優先度が、前記無線リソースを使用している移動局の割当優先度より高い場合に、前記使用されている無線リソースを割当可能か否かを判定し、前記使用されている無線リソースを割当可能な場合に、割当先のリンクにその無線リソースを割り当てるようにした。